

# 平成29年度 定期作況報告

(9月20日)

地方独立行政法人  
北海道立総合研究機構  
中央農業試験場

# 水稻の部

水田農業G(岩見沢市)

## I 気象概況

8月下旬:平均気温は平年より0.9℃低く、降水量は平年の158%、日照時間は平年の73%であり、多雨、寡照に経過した。

9月上旬:平均気温は平年より2.1℃低く、降水量は平年の12%、日照時間は平年の170%であり、低温、少雨、多照に経過した。

9月中旬:平均気温は平年より2.1℃低く、降水量は平年の309%、日照時間は平年の63%であり、低温、多雨、寡照に経過した。

以上、1ヶ月の平均では平均気温は平年より1.7℃低く、降水量は平年の141%、日照時間は平年の98%であり、低温、多雨に経過した。

8月下旬～9月中旬気象表

項目	8月下旬			9月上旬			9月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温(℃)	20.1	21.0	△ 0.9	18.3	20.4	△ 2.1	16.2	18.3	△ 2.1	18.2	19.9	△ 1.7
最高気温(℃)	24.1	25.9	△ 1.8	24.2	25.1	△ 0.9	21.1	23.2	△ 2.1	23.1	24.7	△ 1.6
最低気温(℃)	16.2	16.9	△ 0.7	13.5	16.7	△ 3.2	12.7	13.9	△ 1.2	14.1	15.8	△ 1.7
降水量(mm)	61.5	38.9	△ 22.6	9.0	72.7	△ 63.7	158.5	51.3	107.2	229.0	162.9	66.1
日照時間(hr)	46.5	63.3	△ 16.8	82.0	48.1	33.9	35.0	55.7	△ 20.7	163.5	167.1	△ 3.6

注1) データは「アメダス岩見沢」を使用し、平年値は前10ヶ年の平均値を用いた。

注2) 表中の気温は期間内の平均を示し、降水量と日照時間は期間内の積算値を示した。

## II 作 況

9月20日 やや良

事由:8月下旬から9月中旬は低温に経過したが、登熟はほぼ平年並に進んだ。成熟期は「ななつぼし」、「ゆめぴりか」ともに平年より2日遅かった。一穂粒数は「ななつぼし」、「ゆめぴりか」ともに平年比100%で、 $\text{m}^2$ 当たり粒数はそれぞれ平年比91%、92%であった。稔実歩合はそれぞれ平年より2.9ポイント、2.8ポイント高く、 $\text{m}^2$ 当たり稔実粒数はそれぞれ平年比で94%、95%であった。登熟歩合はそれぞれ平年より9.2ポイント、11.8ポイント高く、 $\text{m}^2$ 当たり登熟粒数はそれぞれ平年比で102%、106%と平年並からやや多かった。以上により、9月20日時点の作況は、やや良である。

### 参考

8月20日 平年並

事由:7月下旬の気温は平年並に経過したため、出穂期は「ななつぼし」で平年並で、「ゆめぴりか」で平年より2日遅かった。稈長は「ななつぼし」、「ゆめぴりか」で平年比105%、105%であった。穂長はそれぞれ平年比で99%、104%であった。穂数はそれぞれ平年比で91%、92%であった。すなわち、稈長は平年よりやや長く、穂長は平年並で、穂数は平年よりやや少なかった。以上により、8月20日時点の作況は、平年並である。

7月20日 平年並

事由:6月下旬は低温・寡照に経過したため、幼穂形成期は「ななつぼし」、「ゆめぴりか」でそれぞれ平年より1日遅かった。7月上旬および7月中旬は高温に経過したが、主稈の止葉葉数はそれぞれ平年比で0.2枚、0.5枚多かったため、止葉始は「ななつぼし」で平年より1日、「ゆめぴりか」で平年より3日遅かった。

7月20日において、草丈は「ななつぼし」、「ゆめぴりか」で平年比102%、100%であった。茎数はそれぞれ平年比で91%、93%であった。主稈葉数はそれぞれ平年より0.2枚、0.5枚多かった。すなわち、草丈は平年並で、茎数は平年よりやや少なく、葉数は平年並からやや多かった。

以上により、7月20日時点の作況は、平年並である。

6月20日 平年並

事由:5月5半旬の気温は平年並に経過したため、移植から活着までの日数は平年並であった。6月上旬および6月中旬は低温に経過したが、6月中旬は多照に経過したため、初期分げつの発生は平年並であった。

6月20日において、草丈は「ななつぼし」、「ゆめぴりか」でそれぞれ平年比99%、99%であった。茎数はそれぞれ平年比104%、95%であった。主稈葉数はそれぞれ平年より0.1枚ずつ少なかった。すなわち、草丈、茎数、葉数はそれぞれ平年並であった。

以上により、6月20日時点の作況は、平年並である。

5月20日 平年並

事由:播種は平年より2日遅い4月19日に行った。播種後から4月5半旬にかけて低温に経過したため、出芽に日数を要し、出芽期は播種後7日目であった。その後、平均気温は平年より高く、日照時間は平年並からやや多く経過したため、生育の遅れをやや取り戻した。移植は平年より1日早い5月19日に行った。

移植時の苗において、茎数は「ななつぼし」、「ゆめぴりか」でそれぞれ平年並で、葉数はそれぞれ平年比で0.1枚ずつ多かった。草丈はそれぞれ平年比で90%、93%で、100本あたりの地上部乾物重はそれぞれ平年比で84%、88%であった。苗の充実度(地上部乾物重/草丈)はそれぞれ平年比で94%、95%であった。すなわち、葉数は平年並で、草丈はやや低く、乾物重は小さく、苗の充実度は平年並であった。

以上により、5月20日時点の作況は、平年並である。

品種名 苗種	ななつぼし 中苗			ゆめびりか 中苗			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
年次							
播種期 (月.日)	4.19	4.17	2	4.19	4.17	2	
移植期 (月.日)	5.19	5.20	△ 1	5.19	5.20	△ 1	
幼穂形成期 (月.日)	7.02	7.01	1	7.03	7.02	1	
止葉始 (月.日)	7.14	7.13	1	7.17	7.14	3	
出穂期 (月.日)	7.27	7.27	0	7.29	7.27	2	
成熟期 (月.日)	9.16	9.14	2	9.16	9.14	2	
穂揃日数 (日)	7.0	6.6	0.4	7.0	6.8	0.2	
登熟日数 (日)	51	49	2	49	49	0	
生育日数 (日)	150	150	0	150	150	0	
移植時地上部乾物重 (g/100本)	1.90	2.25	△ 0.35	1.94	2.21	△ 0.27	
草丈 (cm)	移植時	9.9	11.0	△ 1.1	10.0	10.8	△ 0.8
	6月20日	28.7	29.1	△ 0.4	29.0	29.2	△ 0.2
	7月20日	73.5	71.8	1.7	72.2	72.1	0.1
茎数 (移植時:本/個体) (その他:本/m <sup>2</sup> )	移植時	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	0.0
	6月20日	331	318	13	343	361	△ 18
	7月20日	694	758	△ 64	775	835	△ 60
主稈数 (枚)	移植時	3.1	3.0	0.1	3.3	3.2	0.1
	6月20日	6.9	7.0	△ 0.1	7.1	7.2	△ 0.1
	7月20日	10.3	10.1	0.2	11.0	10.5	0.5
	止葉	10.3	10.1	0.2	11.0	10.5	0.5
稈長 (cm)	72.4	68.8	3.6	70.0	66.9	3.1	
穂長 (cm)	16.4	16.5	△ 0.1	17.3	16.6	0.7	
穂数 (本/m <sup>2</sup> )	664	730	△ 66	735	799	△ 64	
一穂粒数 (粒)	50.1	49.9	0.2	42.6	42.5	0.1	
m <sup>2</sup> 当粒数 (百粒)	333	364	△ 31	313	340	△ 27	
稔実歩合 (%)	96.0	93.1	2.9	95.2	92.4	2.8	
登熟歩合 (%)	92.6	83.4	9.2	89.8	78.0	11.8	
籾摺歩合 (%)		77.0			74.1		
屑米歩合 (%)		6.1			9.2		
千粒重 (g)		22.6			23.2		
わら重 (kg/a)		65.9			65.0		
精籾重 (kg/a)		77.9			75.8		
精玄米重 (kg/a)		60.0			56.2		
収量平年比 (%)		100			100		
検査等級		1等			2上		

注1) 平年値は前7ヶ年中、平成27年(最豊)、22年(最凶)を除く5ヶ年平均。

注2) 耕種概要

土壌 : 細粒グライ土

施肥 : 高度化成472全層施肥 N-P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-K<sub>2</sub>O=7.0-8.5-6.0 kg/10a

播種量 : 中苗紙筒=130cc/箱

栽植密度 : 33.0×12.0cm 25.3株/m<sup>2</sup> 4本植え

移植方法 : 手植え

反復 : 2

注3)刈り取り面積は一区3.96m<sup>2</sup>。精籾重、精玄米重は水分15%換算値。使用した篩目は1.90mm。

注4) 登熟歩合は枝梗や芒を取り除いた籾を比重1.06の食塩水によって調査した。

# 畑作の部

作物G(長沼町)

## I 気象概況

8月下旬:平均気温は平年より1.3℃低く、降水量は平年の153%、日照時間は平年の73%であり、低温、多雨、寡照に経過した。

9月上旬:平均気温は平年より2.5℃低く、降水量は平年の13%、日照時間は平年の171%であり、低温、少雨、多照に経過した。

9月中旬:平均気温は平年より1.9℃低く、降水量は平年の147%、日照時間は平年の83%であり、低温、多雨、寡照に経過した。

以上、1ヶ月を通じ平均気温は平年より1.9℃低く、降水量は平年の90%、日照時間は平年の106%であり、低温に経過した。

8月下旬～9月中旬気象表

項目	8月下旬			9月上旬			9月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温(℃)	23.4	25.5	△2.1	23.4	24.8	△1.4	20.5	23.0	△2.5	22.5	24.5	△2.0
最低気温(℃)	15.0	16.1	△1.1	12.3	16.0	△3.7	12.0	13.1	△1.1	13.2	15.1	△1.9
平均気温(℃)	19.1	20.4	△1.3	17.4	19.9	△2.5	15.8	17.7	△1.9	17.5	19.4	△1.9
降水量(mm)	61.5	40.3	21.2	9.5	75.5	△66.0	87.5	59.6	27.9	158.5	175.4	△16.9
降水日数(日)	4.0	2.2	1.8	1.0	2.7	△1.7	6.0	2.8	3.2	11.0	7.7	3.3
日照時間(hr)	43.5	59.3	△15.8	81.7	47.7	34.0	44.2	53.3	△9.1	169.4	160.3	9.1

注1) 気象データはマメダス中央農試本場。欠測値および明らかな異常値はアメダス長沼で補正。

注2) 平年値は過去10年間の平均値。

注3) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値。

注4) 降水日数は、24時間降水量が0.5mm以上をカウント

注5) △は減を示す。

## 1. 秋まき小麦(平成29年播種)

平成29年9月20日作況：やや不良

事由：9月4半旬以降の降雨のため、9月20日現在で播種作業が終了していない。

以上により、現在の作況はやや不良である。

項目 \ 年次	品種名	きたほなみ		
		本年	平年	比較
播種期	(H29.月.日)		9.20	
出芽期	(H29.月.日)		9.28	
出穂期	(H30.月.日)		6.6	
成熟期	(H30.月.日)		7.18	
冬損程度	(0:無～5:甚)		0.7	
草丈 (cm)	H29.10.20		18.6	
	H30.5.20		43.1	
	H30.6.20		95.8	
茎数 (本/m <sup>2</sup> )	H29.10.20		574	
	越冬前(11月)		1214	
	越冬後(4月)		1738	
	H30.5.20		1278	
	H30.6.20		722	
成熟期に おける	稈長 (cm)		88	
	穂長 (cm)		8.9	
	穂数 (本/m <sup>2</sup> )		656	
倒伏程度	(0:無～5:甚)		0.3	
子実重	(kg/10a)		713	
容積重	(g/l)		813	
千粒重	(g)		38.8	
品質	(等級)		2等	
子実重平年対比 (%)			100	

注1) 平年値:前7か年中、平成28年(最凶)、平成29年(最豊)を除く5か年平均(収穫年度)

注2) △は平年より早、短、少を表す。

注3) 倒伏程度:成熟期における倒伏程度。

注4) 容積重はブラウエル穀粒計により測定した値。

## 2. 大豆

6月20日 平年並

事由：播種期は平年と同日の5月22日で、出芽期は平年より2日早かった。出芽後の6月上～中旬の気温が低く、主茎長は平年よりやや短かかったが、主茎節数は平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日 平年並

事由：開花期は平年より1日早い7月15日であった。分枝数はやや少ないが、主茎長および主茎節数は平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

8月20日 平年並

事由：開花期以降低温に経過し、分枝数はやや少ないが、主茎長、主茎節数および着莢数は平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

9月20日 平年並

事由：低温に経過し、先月同様に分枝数はやや少ないものの、主茎長、主茎節数および着莢数は平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

品種名		トヨムスメ		
		本年	平年	比較
項目 \ 年次				
播種期	(月.日)	5.22	5.22	0
出芽期	(月.日)	6.1	6.3	△ 2
開花期	(月.日)	7.15	7.16	△ 1
成熟期	(月.日)		9.30	
主茎長 (cm)	6月20日	9.2	11.4	△ 2.2
	7月20日	43.8	44.7	△ 0.9
	8月20日	55.2	54.6	0.6
	9月20日	55.7	54.9	0.8
	成熟期		54.9	
主茎節数 (節)	6月20日	3.1	3.0	0.1
	7月20日	10.1	9.5	0.6
	8月20日	10.1	10.0	0.1
	9月20日	10.0	10.0	0.0
	成熟期		10.0	
分枝数 (本/株)	7月20日	5.9	6.6	△ 0.7
	8月20日	6.4	7.3	△ 0.9
	9月20日	6.2	6.9	△ 0.7
	成熟期		6.5	
着莢数 (莢/株)	8月20日	77.4	77.2	0.2
	9月20日	69.9	70.0	△ 0.1
	成熟期		66.7	
一莢内粒数		1.85		
子実重 (kg/10a)		405		
百粒重 (g)		39.6		
屑粒率 (%)		1.3		
品質 (等級)		2下		
子実重平年対比 (%)			100	

注) 平年値は前7カ年中、平成24年(最凶)、26年(最豊)を除く5カ年平均。

### 3. 小豆

6月20日作況：平年並

事由：播種期は平年より2日早い5月23日であった。出芽は良好で、出芽期は平年より5日早い6月6日であった。6月20日現在で主茎長は平年より短い、主茎節数は平年より多い。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日作況：平年並

事由：7月上旬から中旬にかけて高温で推移した。7月20日現在で主茎長は平年よりやや短く、分枝数は少ないが、主茎節数はやや多い。

以上により、現在の作況は平年並である。

8月20日作況：やや良

事由：開花期は平年より1日遅い7月22日であった。8月20日現在で分枝数はやや少ないものの主茎長は長く、主茎節数、着莢数は平年を上回っている。8月12日の降雨により一部倒伏した。

以上により、現在の作況はやや良である。

9月20日作況：やや良

事由：8月中旬以降、気温が平年より低く推移したため、成熟期は平年より10日遅い9月13日であった。成熟期における主茎長は長く、主茎節数は並であった。分枝数は少ないものの莢数はやや多く、一莢内粒数は平年並であった。

以上により、現在の作況はやや良である。



品種名		エリモショウズ		
項目 \ 年次		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.23	5.25	△ 2
出芽期	(月.日)	6.06	6.11	△ 5
開花期	(月.日)	7.22	7.21	1
成熟期	(月.日)	9.13	9.03	10
主茎長 (cm)	6月20日	3.1	3.6	△ 0.5
	7月20日	22.1	23.6	△ 1.5
	8月20日	72.9	62.0	10.9
	成熟期	72.6	61.6	11.0
主茎節数 (節)	6月20日	2.0	1.5	0.5
	7月20日	10.0	9.3	0.7
	8月20日	15.7	14.3	1.4
	成熟期	14.6	14.3	0.3
分枝数 (本/株)	7月20日	2.7	3.6	△ 0.9
	8月20日	3.0	3.7	△ 0.7
	成熟期	2.8	3.7	△ 0.9
着莢数 (莢/株)	8月20日	79.7	57.7	22.0
	成熟期	56.8	52.4	4.4
一莢内粒数		5.90	5.80	0.10
子実重	(kg/10a)		288	
百粒重	(g)		12.1	
屑粒率	(%)		4.3	
品質	(等級)		4上	
子実重平年対比	(%)		100	

注) 平年値は前7カ年中、平成27年(最豊)、平成25年(最凶)を除く5カ年平均

#### 4. ばれいしょ

5月20日作況：平年並

事由：本年の根雪終は平年より15日早い3月17日（融雪剤散布）で、植付期は平年より5日早い4月22日であった。5月20日現在で一部萌芽は始まっているものの、萌芽期には至っていない。

以上により、現在の作況は平年並である。

6月20日作況：平年並

事由：萌芽期は平年より5日遅い5月27日であった。6月上～中旬が低温に推移したため、茎長はやや短く、茎数はやや少ない。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日作況：平年並

事由：開花始は平年と同日の6月21日であった。7月上旬以降高温に推移したため、茎数はやや少ないが、茎長は平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

8月20日作況：平年並

事由：枯凋期は平年より7日早い8月13日であった。株当たりの上いも数および上いも平均一個重が平年並であったため、上いも重は平年比99%、中以上いも重は平年比101%であった。でん粉価は平年よりやや低かった。

以上により、本年の作況は平年並である。

9月20日作況：平年並

事由：本年は、8月20日作況時に枯凋期に達していたため、今回追加されるデータはない。

以上により、本年の作況は平年並である。

項目 \ 年次	品種名	男爵薯		
		本年	平年	比較
植付期	(月.日)	4.25	4.27	△ 2
萌芽期	(月.日)	5.27	5.22	5
開花始	(月.日)	6.21	6.21	0
枯凋期	(月.日)	8.13	8.20	△ 7
茎長	6月20日	32	36	△ 4
(cm)	7月20日	45	47	△ 2
茎数	6月20日	3.8	4.8	△ 1.0
(本/株)	7月20日	3.6	4.7	△ 1.1
8月20日における				
上いも数	(個/株)	—	11.7	—
上いも平均一個重(g)		—	89	—
上いも重	(kg/10a)	—	4535	—
でん粉価	(%)	—	15.5	—
枯凋期における				
上いも数	(個/株)	12.2	12.0	0.2
上いも平均一個重(g)		84	87	12
上いも重	(kg/10a)	4554	4611	△ 57
中以上いも重(kg/10a)		3862	3830	32
でん粉価	(%)	14.8	15.4	△ 0.6
上いも重平年対比 (%)		99	100	△ 1
中以上いも重 " (%)		101	100	1
でん粉価 " (%)		96	100	△ 4

注) 平年値は前7か年中、平成22年(最豊)、24年(最凶)を除く5か年平均。  
「上いも」は20g/個以上、「中以上いも」は60g/個以上。